

気仙沼の化石を新たな観光資源に！

気仙沼高校生徒

研究背景

ある日、自分の家の畑から化石が出てきた。驚き、調べてみると気仙沼市が化石の産地であることを知った。もっと多くの人に知ってもらいたいと考え、化石×観光のテーマにした。

岩井崎などはすでに認知されているためここでは、上八瀬の化石を取り上げる。

現状

①上八瀬は研究者の間では有名で『一度は訪れるべき場所』と言われているにも関わらず、地域住民すら知らないことがもったいない。

②『気仙沼市は水産業に偏っている』と仮定し、偏りの軽減ができれば

- ・近年水揚げが減っている
 - ・災害が起きて漁に出られなくなる
- などの課題の改善策になると考えた。

目標

【上八瀬は国内有数の化石の産地】
ということを多くの人に知ってもらう！

- ・気仙沼の新たな観光スポットになる！
- ・水産業以外のバランスの取れた産業！
- ・教育的価値もうまれる！

→化石発掘体験！

仮説の根拠 → 文献調査

Q. 本当に上八瀬は化石の産地なのか？

- ・古生代の地層を知る上で重要な場所。
- ・日本初 古生代の三葉虫の化石が発見された。
※1
- ・日本で二番目にヘリコプリオンの歯の化石が発見された。
※2

A. 上八瀬が化石の産地といえる！

Q. 本当に気仙沼は水産業に偏ってる？

- ・リアス式海岸による天然の良港
- ・国の重要な特定第三漁港に指定
- ・<水産業は気仙沼市の基幹産業としての地位を占めている。> ※3

A. 水産業に偏っているといえる！

外部調査

@上八瀬の化石保護区域

どんな種類の化石が産出するのか自分の目で確かめるべくフィールドワークへ。



← I 珊瑚の化石
温かく、浅い海で
あったことが分かる

* II レプトダスの化石
はこの化石の→
代表的な産地である。



← III ウミユリの化石
I の珊瑚と同じく温かく、
浅い海に生息していた。

これらの化石のほかにも

- ・二枚貝類
- ・腕足類 などが多く見つかりました。

* II の化石は自分で見つけたものではなく、フィールドワーク先の方からいただいたものです。

まとめと今後の展望

現在アンケートで、どのくらいの人が、化石についてどのくらいの知識を持っているか。また、興味があるかなどの調査を行っている最中です！

小さな目標

化石の魅力を知ってもらうべく、化石発掘体験会を開催する！

【対象：小学校高学年～中学生】

→様々な物事に興味を持ち、将来広めていくことができる年代だから。

大きすぎる目標

公共の保存・展示施設である博物館の設立を望む【気仙沼市化石博物館(仮)】

※1の引用

参考文献

- ※1上八瀬地区化石調査報告書
「まえがき、II保存について」
<https://siteports.nabunken.go.jp/22621>
- ※2三陸ジオパーク(117. 上八瀬)
<https://sanriku-geo.com/geosite/117/>
- ※3気仙沼市役所ホームページ 水産業
更新日2022年8月22日
<https://www.kesennuma.mivaqi.jp/ii/business/030/030/010/ir/uec.num>
- ※4化石データベース2
<http://seivo-geo.jp/chishitsu/fossile/fossile2/fossile2.htm>

